

バックアップデータの復元と

データテーブルの変換について

有限会社シンシステムデザイン

1. バックアップしたデータの復元について
補助作業メニューで次のボタンを押してください。



次のような画面が開きますので、復元先（時系列でデータを保存した場所）を確認したら”選択”のボタンを押してください。下記の例は Mac の場合です。



- ・ 念のために、復元先に”TYOGdata.fmp12”のファイルがあることを確認してください。
- ・ この処理を実行すると、現在のデータは復元先のデータに置き換わり元に戻すことはできません。

2. データテーブルの変換につきまして

“学校図書館 FM”のフォルダを開くと次のようなファイルがあります。

名前
 TYOG_vup.fmp12
 TYOG.fmp12
 TYOGdata.fmp12

TYOG.fmp12 はおもに本システムのプログラムがあるファイルです。

TYOGdata.fmp12 は本システムのデータがあるファイルです。

通常のプログラムのバージョンアップは本システムの“バージョンアップ”ボタンを押して実行することにより TYOG.fmp12 ファイルは更新され、バージョン情報は FMx.y の”Y がカウントアップされます。

しかし、本システムの処理機能の拡大などによりデータテーブルの変更が必要になる場合があります。

このような変更があった場合は当社ホームページに記載しますが、通常のバージョンアップを行いますと次のようにバージョン表示が変わります。

FM2.1

FMx.y

X はデータ変換が必要なシステムのバージョンです。

Y はプログラムだけのバージョンアップです。

X が変わった場合の例

FM ⇒ FM2.1

FM2.15 ⇒ FM3.0

このように X の数値が変わった場合は次のようにしてください。

3. バージョン情報”X”が変わった場合のデータファイルの変換方法

- ① 当社 HP より、試用版(TYOGp.zip) をダウンロードします。
- ② このファイルを解凍すると、X が 2 の場合は次のようなフォルダ名で解凍されますので保存先が同じデスクトップでも上書きされることはありません。
学校図書館 FM2
- ③ この中のデータファイル(TYOGdata.fmp12)は変更された空のデータファイルになっています。この中に既存のデータファイルからデータを読み込んでください。
読み込み方は“バックアップデータの復元”と同じ手順です。
- ④ 試用版ソフト(学校図書館 FMx)を起動して、
補助作業メニュー ⇒ **バックアップデータの復元** を実行します。
- ⑤ 復元先は、“学校図書館 FM”のフォルダを指定します。
または、時系列で保存したデータの一番新しいものを選んでください。

以上の操作によりデータは新しいシステムに対応したデータテーブルに変わります。

【補足】

バージョンアップを行なって、バージョン情報の“X”が変わっていた場合は、当社 HP を見てから“データ変換”を実行してください。